

# 寺報

No.582

平成28年2月

蓮華寺  
発行

## 御聖訓

命<sup>いのちかぎ</sup>限りあり惜<sup>お</sup>しむべからず、遂<sup>つい</sup>に願<sup>ねが</sup>うべきは仏国<sup>ぶつこく</sup>なり。

『富木<sup>とぎ</sup>入道<sup>にゅうだう</sup>殿<sup>どの</sup>御返事<sup>ごへんじ</sup>』



### (解説)

昔、インドの人々はお釈迦様だけが本当の仏様であり、自分達は決して仏様になれるなどとは思っていませんでした。

それが『法華経』の中で、お釈迦様は自分も実は皆と同じ様に、御本仏様から仏道修行する為に、この世に『命』を与えられたのであると説かれました。つまりどの様な人であっても、精進する事でお釈迦様と同じ様に仏様になれると教えられたのです。

当時の人々はこの教えを聞き、皆一同に感動したそうです。

ですから日蓮大聖人も、自分の『命』だけを大切にするのではなく、他の人やまたこの世のあらゆる生き物の『命』も大切にしていかなければならないと教えられました。

そして、この『命』こそが全て『仏様の命』につながる宝物であるといわれました。

我々もお釈迦様・日蓮聖人の御弟子の一人として、この『命』を無駄にせず、しっかりと法華経・お題目の修行をしていかなければならないのです。

# 節分会のお知らせ

二月三日(水) 午後六時より

男性大厄

数え二十五歳	平成四年生れ
数え四十二歳	昭和五十年生れ

女性大厄

数え十九歳	平成十年生れ
数え三十三歳	昭和五十九年生れ

年男・年女

(申年)

大正九年生れ
昭和七年・十九年・三十一年・ 四十三年・五十五年生れ
平成四年・十六年・二十八年生れ

その他

・前厄・後厄・還暦・古稀・喜寿  
 ・傘寿・米寿・卒寿・白寿など  
 ・ご祈祷希望者はどなた様でも

★厄払い・三千元

◎豆まき◎祈願読上げ  
 ◎お加持◎厄札◎絵馬  
 ◎福豆のお土産等

★一般祈願・千円(◎節分札◎祈願読上げ)

当山では、本年大厄(前厄・後厄も含む)に当ります男女、また千支の申【さる】年に当ります年男・年女、更に本年度ご祈祷を希望する方々に、まず厄払いのご祈祷とお加持を受けて戴き、次に豆まき(落花生)を行い、最後に絵馬と厄除けのお札、そして豆のお土産をお渡し致します。

この時、お渡しする「絵馬」は、その場か後でも差し支えありませんが、住所・氏名・数え年、そして一年間の願い事を書いてお寺にお納め下さい。

お寺ではこれを一年間、大本堂の御寶前に奉納し毎朝祈願のお経をお上げします。

また、「厄除けのお札」はご本人が寝ている部屋の柱の上の方に、一年間貼つて下さい。

向きは、寝ている頭の方向が最もよろしいでしょう。必ずお願い致します。

②本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・衣類等をご持参下さい。

【随時受付中】



## 厄払い

私達が一生の中で、特に災難に遭う恐れが多く、慎みたい年を『厄年』といいます。

男性は二十五歳と四十二歳、女性は十九歳と三十三歳の、いずれも数え年を『大厄』といい、またその前後の年を『前厄』『後厄』といひまして、この三年間を慎む風習が昔からあります。

厄年に当る人が、神仏の前で厄災の起こらないようにと祈念する行事を「厄払い」、また除厄祈祷といひます。

日蓮大聖人は、法華経を信仰する事で「三十三の厄、転じて三十三の幸いとならせ給うべし」と教えられ、昔から信者の厄年の男女は、法華経・お題目の力によって除厄得幸を祈ってきました。

当山では、厄年以外の今年【申年】の『年男・年女』また『還暦』『古稀』『喜寿』『傘寿』『米寿』等、更にその年の除災を願う方々は、どなたでもご祈祷を受ける事が出来ます。

また一般の参拝の方々も、除厄された方よりまかれる豆を拾い、今年の福を分けてもらって下さい。

## 節分と豆まき

「節分」は文字通り、季節の分かれる時という意味です。

ですから、本来は立春・立夏・立秋・立冬に移る時を指します。

しかし、旧暦を用いていた時代では、年越しと重なる立春の日が特に重んじられ、いつの間にか立春の前日だけを「節分」というようになったのです。

この日に行われる行事の事を「追儺会」といいます。追儺とは、「鬼やらい」「厄払い」「厄おとし」ともいひまして、我々に害をなし、また苦しめる悪霊・疫病・厄神を追い払い、そして幸せをもたらす守護霊・福神・善神などを招き入れる行事であります。

歴史は古く、今から三千年以上も前に、中国の宮中で行われていたといわれています。

また、「豆撒き」も中国の後漢書(千七百年以上前に書かれた書)に『昔より節分に大豆打つ事始まれり』と書かれた文に基づき、我が国でも足利時代よりあとの應永年間(一三九四〜一四二七)頃より宮中で実施されていたもようであります。

(続く)

それが、時代と共に庶民にも取り入れられるようになり『鬼は外、福は内』というかけ声のもと、普及してきたようです。

そして、大豆には『時季を退け、払う』との意味があり、また豆も魔目(まめ)・魔滅(まめつ)に通じるといわれ、豆を投げれば鬼の目をつぶす事が出来、それが魔を滅する事につながるとされたのでした。

### 永代供養堂

当山会館三階にあります「永代供養堂」は、後を見る事が出来ない仏様を、当山指定のお位牌に『ご戒名』または『先祖代々之霊』と彫り、裏には施主名を彫り、御寶前にお祀りし、蓮華寺が続く限り永遠に毎朝ご供養してまいります。

### 永代供養塔

当山境内地にあります「永代供養塔」は今後、後を見る事が出来ない『個人のお骨』、また『先祖代々のお骨』を埋骨し、永代に渡り毎月ご供養致します。

④いづれも詳細は当山事務所までご相談下さい。

### 『位牌壇』の募集!

\*お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖様や仏様が今後代々に渡り守られていきます。

\*ご命日の時、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げし、またお経もお上げ致します。

\*青森では冬期間お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと常にお参りが出来ます。

\*分割の場合は三年間の内に、回数をご相談下さい。

\*下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。

\*ご親戚やご友人に譲渡の場合は、必ずお寺にご連絡下さい。

### 『聖徒団会員』の募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

### 『星祭』お申込みのお知らせ

当山では毎年三月に行われます『星祭』の期間中皆様のご家族のお名前と数え年を記入しました「星」(劍守札)をお祀りして、その年の善星が皆来し、悪星が退散して、一年間無事安泰でありますようにと祈願致します。

その時に、皆様がお受けになります「星」のお申込みは、事務所に置いてあります専用の用紙に、ご家族のお名前・性別・数え年・住所等をお書きの上、お早めにお申込みになるようにして下さい。

※劍守札(星)【二体・・・二百円】



どうか、檀信徒の皆様は、是非とも毎年この「星」(劍守札)をお申込み戴き、そして、いまだ知らない方がおりましたら、お勧めになりますようにお願い致します。

二月十三日(土)より受付します。

### 『御守護』札を

貼付しましょう!

当山で毎年年末に用意致します『御守護札』は、蓮華寺の檀家である証明と、その家をご守護する為のお札ですので、必ず玄関に貼付するようにして下さい。

まだ檀家の中でも知らないで、貼付していない家庭も沢山あります。

どうか、今年度より貼付するようお願い致します。



(一枚五百円)(販売中)

また、その年に家で不幸などがあつた場合でも、御札・御幣等は必ず毎年取り替えるようにして下さい。

### ☆ 靈断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いません。 ☎776-5840

【相談料は原則として三千円となります】

# 大本堂内部改修

## 浄財のお願い

現在当山では大本堂の内部、特に壁の部分を中心に改修工事が行われています。

建立されて以来八十九年という長い歳月を経た建物です。内部の壁が多く破損、剥離してきました。

このままでは連鎖的に壁がはがれていく可能性があり危険ですので、今般、下地をしつかり補修し、その上に塗り替えをした方が良いとのご指摘を、担当者より受けました。

しかし、大本堂は全体の面積が非常に広い為に、工事費もかなりかかります。

どうか、その旨をご理解戴きまして、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

●総 工 費…一千四百五十万円

●勧募方法…一口・五千円以上（随時受付中）

（注）ご寄付の方の御芳名を本堂内に奉納します。

●工事期間…平成二十八年三月完成の予定

今年の四月二十八日（木）には県内の全僧侶が参集し『立教開宗会』（日蓮宗が開かれた日）という大法要を当山で厳修致しますので、それに間に合わせて工事をしていきます。

# 身に着ける「お守り」

当山では、次の三つのお守りを、全檀信徒の皆様にも必ず身に付けて戴きますようにお願いしています。

## 霊 神 符



生命に係わる事故や災難から身を守るお守りで、必ず身に付けて、毎月交換して戴きます。

## 五段のお守り



我々の計り知れない死霊・生霊・野狐・厄神・呪詛の五段の邪気から身を守るお守りで、年に一回交換します。

## カード型ご本尊



日蓮宗の大曼荼羅御本尊を小型化したお守りで、右の二つのお守りを、更に強くお護りして戴く為に一緒に身に付けて、年に一回交換します。

# 盛運祈願会へ

## お参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り（俱生霊神符）を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

皆様の中には、自らが参拝してお守りを戴く方、親戚や友人に頼んで戴く方、また直接お寺の事務所でお求めの方と、様々な方法でお守りを戴いている事と思います。

しかし、ついたちの日が仕事や諸用で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、時間にいくら余裕のある方は、是非とも盛運祈願会に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はただお守りを戴くだけではなく、御寶前で大曼荼羅御本尊・日蓮大聖人・諸天善神・俱生霊神に『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』と、感謝する事が大切なのです。

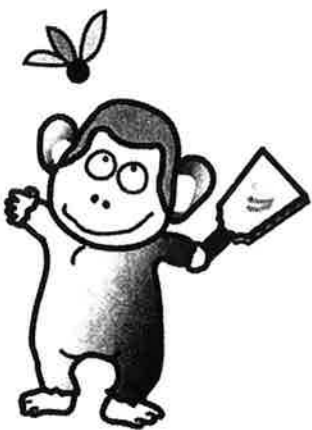
更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に自らの盛運を祈願して、俱生霊神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

# 各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、まだ平成二十七年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トロー代（提灯）』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

どうぞご納入下さい。  
また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いづれも加名者の方のみにお願ひしています。  
平成二十八年度分も、よろしくお願い致します。



### 二月の行事

一 日(月) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換日です。
- ・ お守りは、お勤めに参拝してお経・お題目を唱え感謝の心を込めて戴くようにしましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒は必ずお守りを持ちましょう。



三 日(水) 節分会 午後六時より

十二日(金) 甲子きのえね【大黒様の日】 朝のお勤め中

十三日(土) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
  - ・ 如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)
  - ・ 檀信徒の皆様は、日蓮大聖人様のご報恩を忘れず
- に参拝し、一緒にお経・お題目を唱えましょう。

二十二日(月) 妙見小祭 朝のお勤め中

### ☆奉仕のお知らせ

三 日(水)「節分会」のお手伝いと後片付け

教宣部男女・午後三時より

\* 今月は、「節分会」の大有事がありますので、お手伝いの方が沢山必要です。

どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。

① 一般檀信徒の方で、ご奉仕出来る方は事務所までお申し出下さい。

● 奉仕部長・山田兼補 ● 伝道部長・小野正春

● 教宣部長・杉淵昌三

### 檀信徒研修会は

三月までお休みです

### ☆『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

① 『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

② 『十三日のお勤め』のお経練習用に(カセットテープ・CD・お経本)を販売しています。